

多施設共同後方視的 BPSD・神経画像データ収集研究(J-BIRD-retrospective Neuroimaging part(J-BIRD-RN))

1. 研究の対象

2015年4月～2021年12月に当院で認知症の鑑別診断の目的で神経心理検査、頭部MRI、脳血流シンチを受けられた方

2. 研究目的・方法

認知症者に生じる幻覚、妄想、易怒性、徘徊、拒否などの行動・心理症状(BPSD)は、本人のQOLを低下させ、家族の介護負担を増加させる临床上重要な症状です。BPSDを呈する原因には、認知症の本人の病前性格や生活歴、本人のストレス、周囲の状況など様々な要因が関与していますが、BPSDの最も重要な要因は、認知症の原因疾患による脳の障害です。我々は、神経画像検査を用いて、BPSDの生物学的基盤を明らかにする研究を提案します。BPSDの原因を明らかにすることによって、認知症になった際のBPSDの出現を予測して、早期に治療を行うことができるようになると考えています。認知症データベースを有している複数施設(下記に記載)で2015年4月～2021年12月に検査を行った12種類のBPSDを総合的に評価できるNeuropsychiatric Inventory(NPI)データを始めとする臨床データと頭部MRI、脳血流シンチを収集し、統計画像解析ソフトであるStatistical Parametric Mapping 8 (SPM 8)を用いて複数のBPSDの神経基盤を明らかにします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

基本情報：年齢、性別、利き手、罹病期間、配偶者の有無、同居家族、服用中の薬剤 等
認知機能検査/臨床評価：Mini-Mental State Examination、NPI、Clinical Dementia Rating 等

画像検査：MRI volume data、MRI FLAIR と T2、MRI SWI or T2*、Fazekas 分類、脳血流 SPECT 等

4. 外部への試料・情報の提供

各研究施設から、当センターへのデータ送付は各施設で匿名化を行い、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。収集したデータは当センターでナンバリングを行い研究責任者が保管・管理する。各研究施設へのデータ提供はポータブルハードディスクにて郵送で行います。

5. 研究組織

高知大学医学部 神経精神科学講座 數井 裕光
学校法人慈恵大学 東京慈恵会医科大学 精神医学講座 品川 俊一郎
大阪大学医学部兼任教員/キャンパスライフ健康支援・相談センター 鐘本 英輝
兵庫県立リハビリテーション西播磨病院 高橋 竜一
神戸大学大学院医学研究科 放射線医学分野 石井一成

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知県南国市岡豊町小蓮
国立大学法人高知大学医学部神経精神科学教室
TEL:088-880-2359

研究責任者：

高知大学医学部 神経精神科学講座 數井 裕光

以上